

2015年3月25日

## AGC、ベトナムで塩化ビニル樹脂の生産能力を50%増強 ～東南アジアにおける一貫生産体制を強化～

**AGC** 旭硝子株式会社

AGC（旭硝子株式会社、本社：東京、社長：島村琢哉）は、ベトナム国内における塩化ビニル樹脂（PVC）への旺盛な需要に対応するため、同国でPVC事業を行う当社子会社のフーミー・プラスチック・アンド・ケミカルズ社（PMPC社）の設備能力を増強します。設備の稼動開始は2016年初頭を予定しており、PVCの生産能力は現行の年間10万トンから約15万トンに拡大します。またベトナムおよびインドネシアでの能力増強により、AGCグループの東南アジアにおける生産能力は年間約70万トンになる見込みです。

ベトナムは、タイとインドネシアに次ぐ東南アジア第3位のPVC市場であり、その需要はGDP成長率並みに伸長しています。2014年に買収完了後、PMPC社は安定した事業運営を行っており、本設備投資によって今後も成長の見込まれるベトナムPVC市場での事業基盤を更に強化します。

また設備完成後は、現在、生産能力を増強中であるインドネシアの当社子会社アサヒマス・ケミカル社からPVCの原料である塩化ビニルモノマー（VCM）を調達する予定です。

AGCグループは新経営方針 **AGC plus** の下、東南アジアにおけるクロール・アルカリ事業に注力しています。グループ内の連携を高め、東南アジア地域でクロール・アルカリ事業の一貫生産体制を構築することで、域内での競争力を強化し、市場シェアを拡大していきます。



PMPC社の外観写真

◎本件に関するお問い合わせ先：

**AGC** 旭硝子株式会社 広報・IR室 小林 純一

担当:駒崎 TEL:[03-3218-5603](tel:03-3218-5603) Email:[info-pr@agc.com](mailto:info-pr@agc.com)

 **JAPAN**  
EXPO 2015 MILANO

ミラノ万博日本館に協賛しています。

<ご参考>

■PMP C社概要

1. 社 名 フーミー・プラスチック・アンド・ケミカルズ社  
(Phu My Plastics & Chemicals Co., Ltd.)
2. 代表者 野田 庸一
3. 本社工場所在地 ベトナム、バリアーブンタウ省
4. 資 本 金 35百万USドル
5. 持分比率 AGC 78%、三菱商事 15%、  
現地パートナー (Vung Tau Shipyard Corporation) 7%
6. 設 立 1995年
7. 事業内容 塩ビ樹脂 (PVC) の製造・販売